

重要：このクイックリファレンスガイド（QRG）では、超音波内視鏡 EB-710US を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。
詳しい手順は取扱説明書（洗浄 / 消毒 / 滅菌編）を参照してください。



参照：
第 5 章
▶ 5.3.3～5.3.5



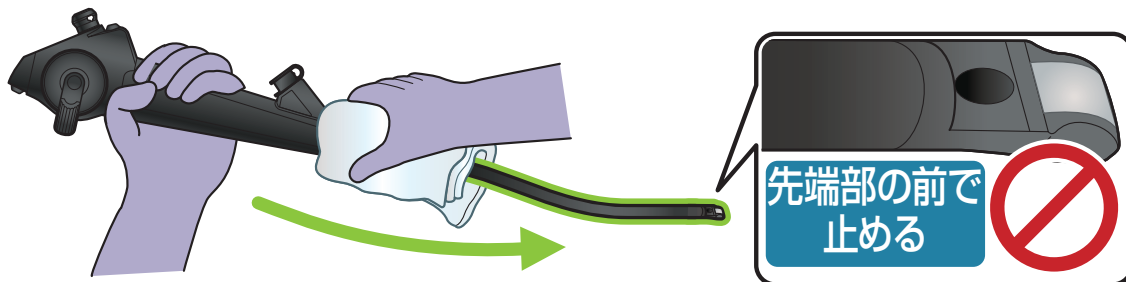
警告：リプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。



警告：検査または処置の終了後、ただちにベッドサイド洗浄を行ってください。ただちに行わないと、リプロセスが適切に行われず、感染の原因となるおそれがあります。

A. 挿入部を拭く

5.3.3



洗浄液を含んだ清潔なガーゼで、挿入部を拭きます。

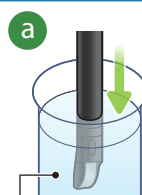
B. 吸引チャンネルをベッドサイド洗浄する

5.3.4.1



鉗子栓のフタが開いている場合は、閉じます。

洗浄液を吸引する



洗浄液



10 秒

押し込んだままにする

空気を吸引する



押し込んだままにする

- 3回繰り返す
- a 先端部を洗浄液に入れます。
 - b 吸引ボタンを押し込み、10 秒間洗浄液を吸引します。
 - c 吸引ボタンを押し込んだまま、先端部を洗浄液から出し、空気を吸引します。

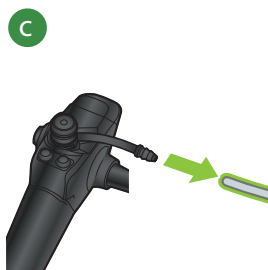
C. 吸引ボタンと鉗子栓を内視鏡から取り外す

5.3.5.1
5.3.5.3

a 超音波接続ケーブルを取り外します。



b 防水キャップを取り付けます。



c 吸引チューブを取り外します。



d 吸引ボタンと鉗子栓を取り外し、適切な方法で廃棄します。

FV-003 (別売品)

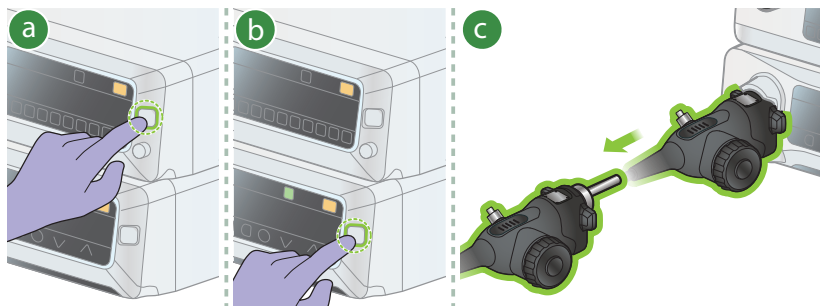


警告：吸引ボタンと鉗子栓は、再使用禁止の製品です。使用後は廃棄してください。廃棄せず再使用すると、感染の原因となるおそれがあります。

D. 内視鏡を光源装置から取り外す

5.3.5.4
(1)~(5)

注意：光源装置からスコープコネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒に触れないでください。熱傷するおそれがあります。

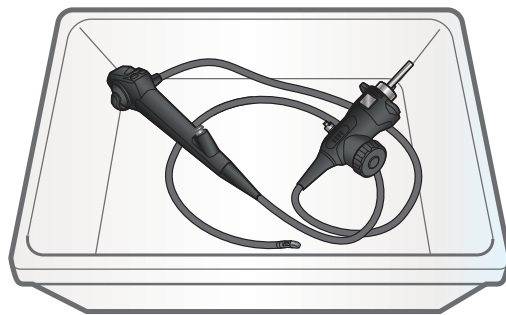


a プロセッサの電源を切ります。

b 光源装置の電源を切ります。

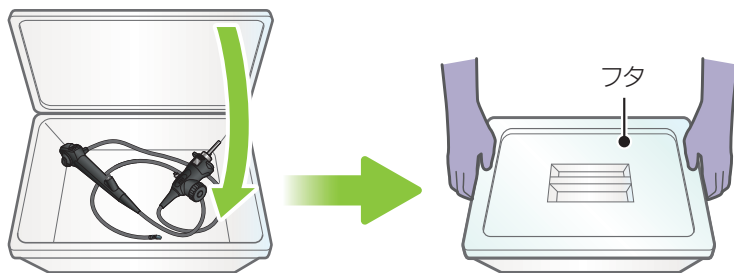
c スコープコネクターを取り外します。

E. 内視鏡を容器に入れる

5.3.5.4
(6)

内視鏡を清潔で大きなフタ付き容器に入れます。

F. 洗浄のために内視鏡を運搬する

5.3.5.4
(7)・(8)

フタを閉めて、内視鏡をマニュアル洗浄を行う場所に運びます。



警告：使用した内視鏡は、運搬用の清潔で大きなフタ付き容器に入れてフタをして運んでください。残留している液が飛散して、感染の原因となるおそれがあります。

* 取扱説明書（洗浄 / 消毒 / 滅菌編）の記載箇所は変更されることがあります。
897N208178A

気密テストに進む ▶